

会 計	下水道事業特別会計													
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策							
	第4章 安全安心都市			13 下水			02 雨水に対する安全を確保する							
事業：下水道維持管理事業(雨水)										整理番号	0348			
目的	水害を防止するため公共下水道施設(雨水)の機能を確保し、もって浸水を防除し市民の安全と都市機能を保全する。													
目標	公共下水道施設(雨水)の機能を確保する。													
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		77,198		コスト情報・評価	総コスト(千円)		208,961		総合評価	B	妥当性	B	
	財源内訳	一般財源		77,198		事業費		77,198				効率性	A	
		国府支出金		0		人件費		9,156				有効性	B	
		地方債		0		公債費		122,607		常に適正な状態の維持への取組み方策の検討。				
		その他特定財源		0		一人あたり(円)		1,851						
						世帯あたり(円)		4,431						
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	雨水の適正な排出機能の維持に寄与している。								
今後の方向性	災害防止の観点からも予算の増額要望を行うとともに機能の状況に応じた措置を講じていく。													

事業優先順位	2 細事業：下水道維持管理事業(雨水)										整理番号	01
目的	公共下水道施設(雨水)の機能の確保を図る。											
目標	公共下水道施設(雨水)の機能確保と廃止施設の撤去整備を行う。											
事業実施主体	直営	事業開始年度	昭和47年度以前		根拠法令							
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		平成24年度	比較			
	財源内訳	一般財源		65,585			事業費		65,585			
		国府支出金		0			人件費		5,823			
		地方債		0			公債費		122,607			
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		1,719			
				0			世帯あたり(円)		4,114			
			0			職員数(人)		0.72				
			0			再任用職員数(人)		0.05				
今後の方向性	平成25年度以降の予算については、増額要望を行うとともに機能の状況に応じた措置を講じていく。											
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民							
	A	A	B									

事業：下水道維持管理事業（雨水）

1. 下水道維持管理事業（雨水）

雨水管渠の管理を行い、雨水排水機能の維持に努めた。

2. 調整池浚渫事業

各開発団地下流域の災害防止のために設けられた遊水池機能の保全を図るため、遊水池内の堆積土砂の除去、除草や清掃を行った。

細事業：下水道維持管理事業（雨水）

1. 下水道維持管理事業（雨水）

雨水管渠の管理を行い、雨水排水機能の維持に努めた。

(1) 委託料

委託名	金額（円）	委託概要
下水道台帳作成業務（雨水）	401,100	

(2) 工事請負費

工事名	金額（円）	工事概要
雨水排水路応急復旧工事	3,326,400	大矢船中町等、計3箇所
谷川浄化施設撤去整備工事	54,924,450	谷川浄化施設撤去
マンホール蓋取替工事（雨水）	2,692,305	雨水マンホール 30箇所取替、8箇所高さ調整
合計	60,943,155	

(3) 管理対象

・管理対象延長・・・雨水管渠、開渠延長

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
延長	235km	239km	239km	240km	240km	240km	240km

<参考>

名称	排水区域	管渠延長	告示年月日・番号
西代下水路 公共下水道に編入済	約 53.4 ha	2,640 m	昭和43年7月11日 建告示 第1893号 昭和48年11月15日 市告示 第 136号 昭和62年3月9日 市告示 第 12号
谷川下水路 公共下水道に編入済	約 153.0 ha	1,460 m	昭和48年11月15日 市告示 第 136号 平成元年8月10日 市告示 第 84号

※西代下水路、谷川下水路は、当初都市下水路で現在公共下水道の雨水施設